

# モーラス<sup>®</sup>パップ 60mg をご使用の患者さんへ



- 貼ったところを日光にあてることにより、過敏症状(発疹・発赤、かゆみ、はれなどの**かぶれ**)が起こることがあります。

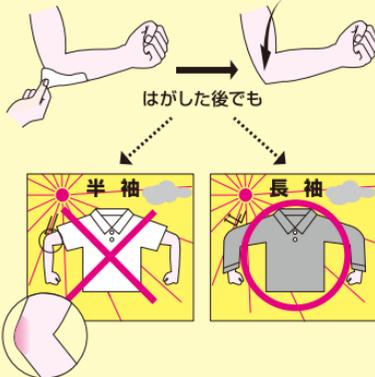


**貼ったところを日光にあてないでください※**

- 海水浴、ゴルフ、テニスなど外での活動はひかえてください。
- 外に出るときは、晴れた日だけでなく曇りの日でも、濃い色の服(長袖やスラックス)や、サポーターなどで、貼ったところを日光からさえぎってください。
- はがした後も、少なくとも4週間は同じように注意してください。

例) 肘に貼った場合

はがした後もくすりは皮膚に残っています。



※特に20歳未満の人は、部活動や体育行事などで日光にあたる機会が多く、かぶれが発現する可能性が高いと考えられますのでご注意ください。



## 2. その他の注意事項

妊娠後期の女性は使用しないでください。



外用剤(パップ、クリーム、軟膏、液など)、化粧品、サンスクリーン、香水等でかぶれたことのある方は、医師または薬剤師にご相談ください。



このくすりに入っている成分によりかぶれたことのある方が使用すると、かぶれることがあります。

貼ったところにかぶれが起こったら、すぐに使用を中止し、医師にご相談ください。



- かぶれているのに使い続けると、かぶれが悪化します。また、かぶれを日光にあてると悪化し、まれに全身にかぶれが広がる場合があります。
- かぶれのあとに、しみ(色素沈着)ができることがあります。
- このくすりを貼ってかぶれなどの過敏症状が起こった方は、以後、ケトプロフェン製剤(坐剤など剤形の異なる製剤、一般用を含む)の使用を控えてください。

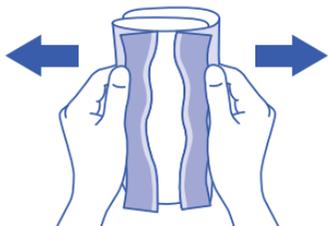
このくすりを人に譲ってはいけません。(お子さま、お孫さま、友人など)

譲られて正しい使い方を知らずに使用し、かぶれが発現した例があります。



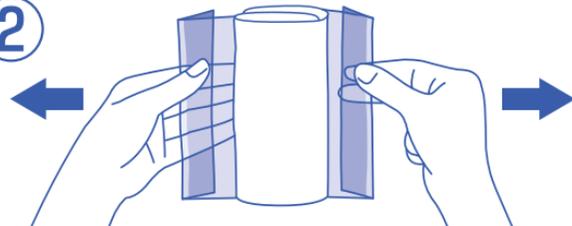
# モーラス<sup>®</sup>パップ 60mgの上手な貼り方

①



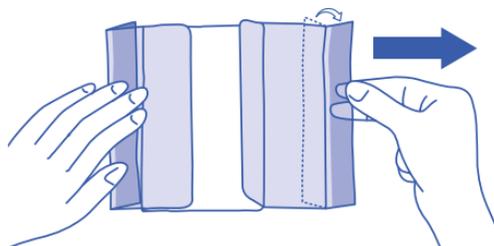
3つ折にして左右に引っ張ると、  
フィルムの真ん中がはがれて浮き上がります。

②



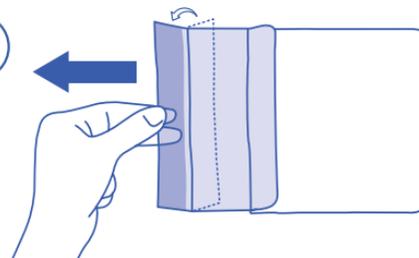
片方ずつフィルムを  
折り目まではがします。

③



薬面を患部に貼り、片方のフィルムを  
ゆっくりはがしながら貼ります。

④



もう片方のフィルムも  
ゆっくりはがしながら貼ります。